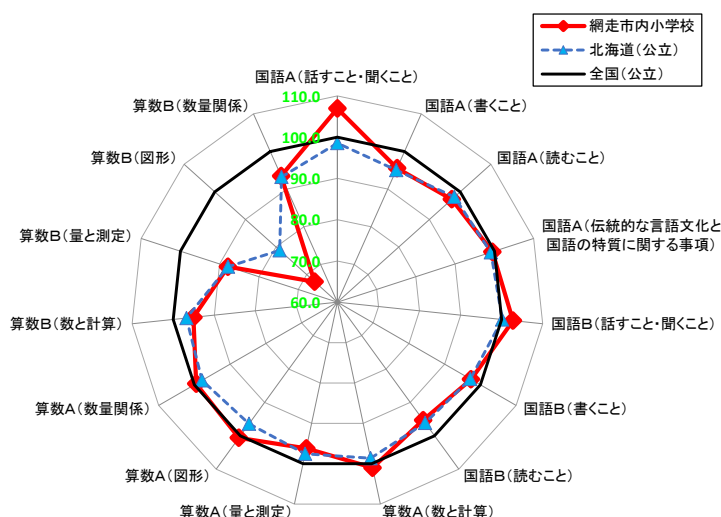


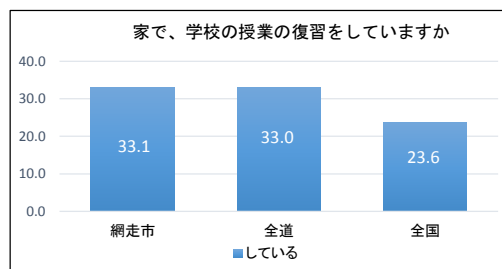
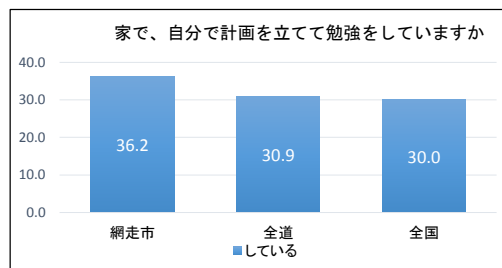
■網走市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:292人)

【教科全体の状況】

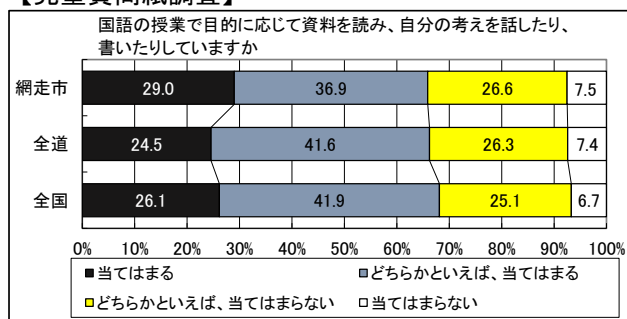
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



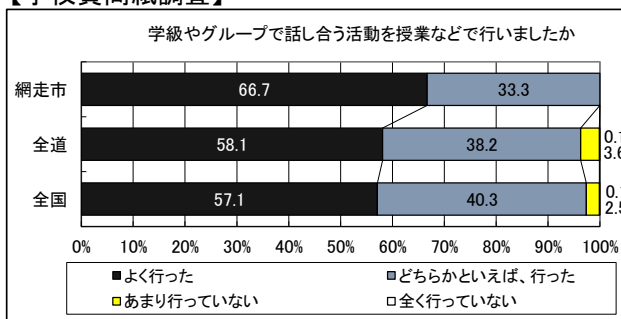
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「図形」で全国を上回っている。	○ 国語科において、学級やグループで話し合う活動を意図的・計画的に授業に位置付けたことにより、児童が自分の考えを話したり、書いたりする機会が増え、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、A・B問題の「話すこと・聞くこと」の平均正答率が高い結果になったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習について、きめ細かな評価・指導を行ったことにより、児童は家で学校の宿題や復習に取り組み、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	○ 「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

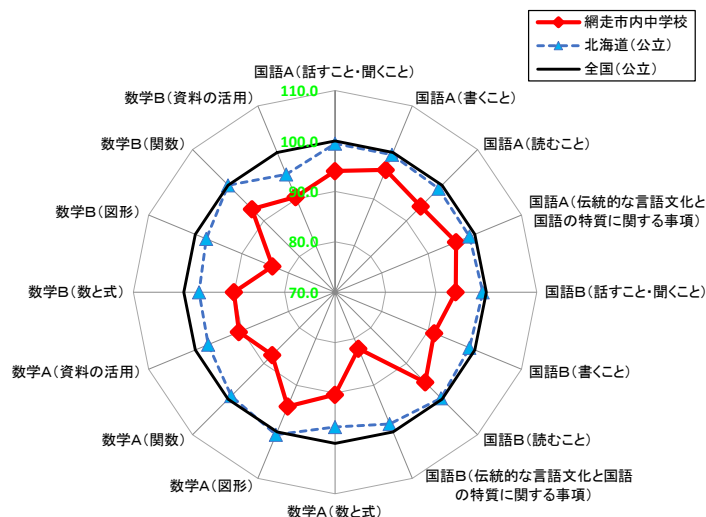
【網走市の学力向上策】

- ◎ 市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
- ◎ 基礎・基本の定着に向けた算数科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
- ◎ 自分の考えを文章で表現する市読書感想文コンクールの実施

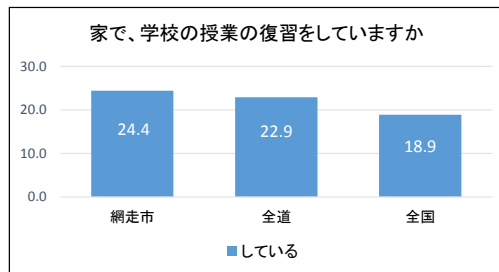
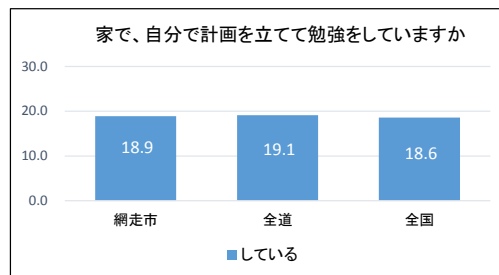
■網走市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、生徒数:291人)

【教科全体の状況】

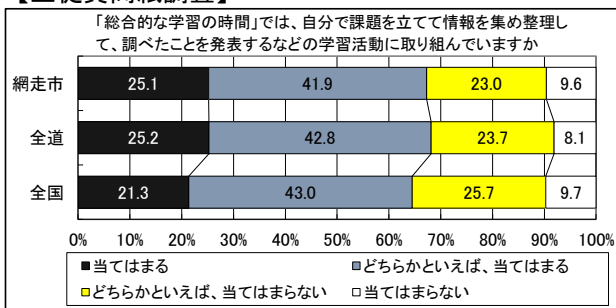
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



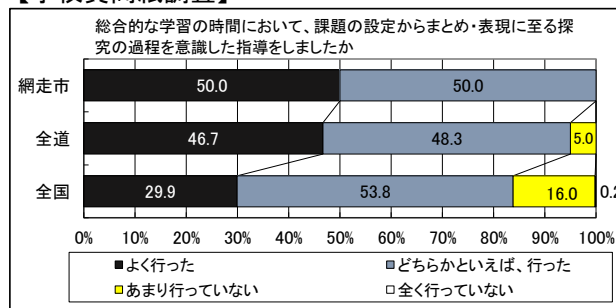
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・Bでは、すべての領域で全国を下回っている。 ○ 数学A・Bでは、すべての領域で全国を下回っている。	○ 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導の充実が図られたことにより、自分で課題を設定し、計画を立てて勉強する生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートを積極的に活用したことにより、家で宿題や復習をする生徒の割合が高くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【網走市の学力向上策】

- ◎ 市内全校の公開研究会の実施及び各研究会や研修会への教職員の参加などによる学習指導方法の工夫改善の取組
- ◎ 基礎・基本の定着に向けた数学科における学習支援員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 家庭における学習習慣を確立するための生活リズムチェックシートの積極的な活用
- ◎ 自分の考えを文章で表現する市読書感想文コンクールの実施
- ◎ ICT機器を活用した効果的な授業改善を推進するための実物投影機と大型テレビの設置